

～港区まち歩き白金～

野老澤の歴史をたのしむ会 横山芳江

12月4日木曜日、当日は雲一つない晴天、でも、この冬1番の寒さ。この寒さのためか体調不良で3名欠席の20名の参加で、予定通り8：34に白金台に向か所沢駅を出発。10時には予定どおり白金台に到着。現地には港区観光ボランティアガイド3名がPR用半纏を着用して待っていました。20名なので3名の方に来ていただきました。

高輪・白金街歩き4コースの内、白金コース2時間を歩きます。

1. 瑞聖寺：1670年に江戸の黄檗宗の中心寺院として創設された。禅宗の1宗派。寺院も立派なのですが、現代建築家の隈研吾のモダン建築が融合した寺でした。水を張った池には、瑞聖寺が映り、その佇まいの存在感を放っていました。お守りやお札、絵馬も可愛らしいです。
2. 港区郷土歴史館：有形文化財となっていますが、建物は内田祥三により設計され、昭和13年に竣工した旧公衆衛生院です。構造は鉄骨・鉄筋コンクリート造、スクラッチタイルで覆われたゴシック調の外観、内田ゴシックと呼ばれる特徴的なデザイン。どこか見た事がある建築物ですが、誰しもが思うかべる東京大学の象徴（安田講堂）に似ている建築です。旧公衆衛生院講堂は、「虎に翼」の撮影にも使用されたそうです。旧エレベーターのボタンもその時代らしく説明文があり新発見でした。
建築の天井の模様は、クッキーの形、床は大理石、暖房は壁の内側など、その時代の最新式でした。
3. 東京大学医科学研究所：（郷土資料館を出ると）脇には東京大学医学部研究所の入り口があります。ドイツ留学から帰国した北里柴三郎が福沢諭吉の援助により設立した伝染病研究所が前身のようです。後に東京大学の管轄になりました。
4. プラチナ通り：東京大学医科学研究所の突き当りはプラチナ通りになります。銀杏並木で美しい並木道でした。三ツ星レストランもあり、行列ができているほどです。
5. 国立科学博物館付属自然教育園：大都市「東京」の中心部にあり、今なお豊かな自然が残っています。都会のオアシスともいえる貴重な森林緑地です。
この自然教育園の近くには、庭園美術館があります。

6. 庭園美術館：庭園も美しく優雅なのですが、美術館の中はアール・デコの美術品・宝石の展示で、庶民の生活とはかけ離れた宝石類で、1個のブローチに何種類もの石を使用し、デザインしているのは驚くべき事でした。

約2時間半の見学でしたが、中味の濃い内容でした。普段なかなか訪れる事ができない場所で、見ることのできない物を知り、貴重な体験となりました。

また、初めてサークル活動担当をしました。まち歩きも楽しいのですが、皆さんが無事に楽しく過ごしていただければと心配もしていました。

最後に次回は是非とも高輪コースの方を探索したいものです。

以上

